

平成26年度 新潟県高等学校野球連盟審判技術向上研修 報告書

平成26年8月9日～11日

阪神甲子園球場

北支部審判員 細野 栄

南支部審判員 北村 勲

この度、第96回全国高等学校野球選手権大会における審判技術向上研修に参加させていただきありがとうございました。

出発当日の新潟を經つ前から早々に、二日間の順延が発表され、テンションが下がった状態で大阪に向かいました。

研修は、大会初日の開会式・第一試合・第二試合・第三試合の二回までとなりましたが

その内容を報告させていただきます。

第1日目 8月9日(土)

- ・ 新潟空港 8:00発～ 伊丹空港着 9:10着
上越JR 7:00発～ 大阪 13:30着
- ・ 日本文理の室内練習見学予定
10時半頃まで空港にて待機したが、室内練習場が取れず断念
- ・ 日本文理激励会出席(宿舎訪問)
- ・ 昼食済ませ、宿泊先 ホテルNCBに移動 14時半チェックイン

第2日目 8月10日(日)

- ・ 順延の為、自由行動
AM 大雨の中、甲子園球場・電車時間等下見
PM プロ審判研修で京セラドームへ(広島対阪神)
球場チケット売場にて事件発生
当日券は、なし！！
トコトンもってる二人でした。
早目の夕食を取り、ホテルへ

第3日目 8月11日(月)

- ・ ホテルNCB 7:20出
- ・ 阪神甲子園球場 8:00着
- ・ 開会式 9:00~9:45

- ◎ 真新しいプラカード、純白の四つのベースと投手板...
眩しいくらいに綺麗で、行進もチーム間の間隔が大きく空かず狭まらず
等間隔が保たれ、ひじょうに素晴らしかった。
開会式が終了するまで、女子生徒・選手誰一人倒れる子がいなく
さすが、全国大会！
- ◎ 選手入場前に審判員約40名が一塁ベンチ前に整列し、開会式(約50分)の間、
姿勢を崩す事無く整列されていた姿はすばらしいと感じました。
また、大会役員より選手側に整列している体形をみて、審判員の重要性を
改めて再認識しました。

第一試合 龍谷大平安(京 都) 対 春日部共栄(埼 玉) 試合時間 2時間5分
PL野口 IB元雄 IIB前坂 IIIB金丸

第二試合 坂 出 商(香 川) 対 敦賀気比(福 井)
PL尾崎 IB小山 IIB星 IIIB大槻

第三試合 日大鶴ヶ丘(西東京) 対 富 山 商(富 山)
PL山口 IB桑原 IIB城須 IIIB金岡

※ 用具点検

- ・ 第一試合は、シートノック前に3人づつで両チーム一度に行う。
- ・ 第二試合は、第一試合の4氏と第二試合の4氏がシートノック前に
両チーム一度に行う。

※ 審判員に関する事項

球 審

- ・ タイム時の投手との距離感が常に3メートル位を維持
- ◎ 選手にプレッシャーをかけない程度の距離間
- ・ 浅い内野フライ時に、野手の捕球確認のためインフィールド内に前進し捕球確認
- ◎ 通常より野手の近くまで前進し捕球確認しており、確実性を感じた
- ・ 要求による交換ボールはキズ等を確認後、手で拭き取りボールケースに収納

◎ 時間短縮にもつながるので、取り入れたいと思った

- 基本的に確実な構え／動作の中に余裕があり、リラックス時の姿も含め、余分な力が入っていない所が大変勉強になった

塁 審

- ◎ フォーメーションについては、特になにもなかった。
打球判定に対する一步目のスタートと位置取りは、素晴らしかった。
サイン交換もスムーズかつ確実に行われていた。
- 選手のプレイに応えるジャッジ。
メリ・ハリ、キレのあるジャッジは見習うもある。
- 給水は、ほぼ毎行っている。
給水場所は、球審・三塁はダートサークルより2mほど離れた箇所。
一塁・二塁は、一塁ベースより3mほど離れた箇所。

※ 試合前トス

第二試合のトスに立会させて頂きました。

トスは、第一試合の五回終了時に控室にて行われる。

トスの流れ室内の配置は、例年同様。

- 1 テーピング確認
- 2 攻守決め

赤井副委員長が同席されていて、一言『トスに立会うの何年振りかの～と...』
『ええか！ こうゆうふうにするんでえ～』と言われ
球審とジャンケンのやり方をデモンストレーション
五回ほどアイコが続き止めた。あかんの～と言われ(室内が和む)

- 3 球審からの諸注意

- ・ 始めに一言

甲子園出場 おめでとう！

県代表の誇りを持って、出場出来なかったチームの模範となる試合になるよう
頑張ってください。

我々、審判員も一生懸命頑張ります。

- ・ 試合開始・終了時の挨拶の仕方

球審の掛声で主将同士にやらせる。

始めます 礼 の掛声の後、両主将一緒に頭を下げる(片方のチームが挨拶した後
後追いで挨拶は、NG。

試合終了時の挨拶方法も、一緒。

終わります 礼 の掛声の後、両チーム一緒に一緒に頭を下げる。

- ・ 試合開始時に挨拶をするので、試合中挨拶はいらない。

例 投手が球審からボールを受取る際
伝令が出る際など

- ・ 規則適用に誤りがあり、異議を唱えるのは構わない。
但し、伝令を使い確認願う。
ジャッジに対する異議は、止めて下さい。

4 大会本部からの諸注意

- ・ 攻撃時におけるベンチ前キャッチボールは2アウト後に、塁間距離以内で行う。試合に出場しているバッテリー以外は、交代選手1組のみ許可する。キャッチボールのみとし、ゴロ等の練習は禁止する。投手が投球する際はその方向に注視し、投球の合間をみてキャッチボールする。(打球に対する事故とボールを逸らした際のトラブル防止)

- ・ フェアプレイ／スピーディー／相手への敬意の3点をお願いする。派手なガッツポーズ等を行わない…相手への敬意
Fマークについての定義
ネクストバッタースサークルでは、ピッチャー投球時は静観し、投球に合わせた素振りは、行わない。

- ◎ 本部役員からの諸注意時間が長く感じられた。
特にFマークの由来について、三つのFの意味をコンコンと説明。
試合を前に控えてる選手にとって、話された内容に対し全てを網羅出来るものであろうか？
球審が退室する際、汚れてるボールケースを着けてるのに目が行き悲しい思いに浸った。
- ◎ 全体的な印象として、無駄な事は言わずに、選手の事を思いやる内容の言葉が多く使われていたように感じられたと共に、最後に両キャプテン同士／両部長同士に握手を求め、球審自らもキャプテン／部長と握手している光景は大変感動的でした

5 主将、部長先生の握手

※ 後ミーティング

第一試合の後ミーティングに臨席させて頂きました。

四氏より

- ・ ボール回し時に内野手がピッチャーに近づく事が多く、その都度注意をしたが改善されるまで数回を要した。
- ・ ファールライン近くに飛んだ打球に対し、ラインキープが必要な打球か迷った。
- ・ 片方のチームが、投手に対して野手の一人歩きが結構あり時間を費やしたので次回は、工夫したい
- ・ 2時間5分というゲーム時間に対し、次戦はその5分をどのように詰めたらいいか対処したい。

桂 技術顧問より

- ・ インプレイ中の注意だけでなく、守備についた時に注意を与えた方が更に効果があるのではないか。
- ・ 2人タイムの回数が多いので、2人タイム時の時間短縮の工夫を考えてほしい。
- ・ 2時間5分に対し、各自が考え更に短縮できるようにムダを省く方法を考えて次回以降に実践してほしい。
- ・ ファールライン近くの飛球を追う場合は、ラインキープが基本である事を再徹底する事。
- ・ 一塁審に対し
フォースアウトの判定は、いかなる場合もベースに正対し
時久ジャッジが流れるような時があるので、しっかりと止める事。

- ◎ 試合時間(時間短縮)については、積極ストライクなどには一切触れずに、ムダを省く方法に重点が置かれていた点について大変共感しました
また、審判員への指摘については強い言葉で注意をするのではなく、全員で次回に向けて改善していくように話をされていた点が印象的でした

- ◎ 控審判は、幹事の人達が二人体制で行い、かつ技術顧問がゲームをチェック。
後ミーティングルームには、当日出番の審判全員が列席しミーティング内容を確認している。

この度、第96回全国高等学校野球選手権大会審判技術向上研修という機会を与えて頂き、県高野連の皆様、審判長はじめ審判幹事・審判員の皆様に心より感謝申し上げます。
今回の研修で痛感した事は、高校野球の手引の冒頭にあります『高校野球審判員としての心構え』であります。
大会初日の研修ということで、赤井副委員長・レギュラー審判員の皆様と直にお話できる時間が無かったのが残念でしたが、
研修で得たことを今後、実践出来るよう努力してまいりたいと思います。
有難うございました。

細野 栄

この度は第96回全国高等学校野球選手権大会審判技術向上研修に参加させていただき、心より感謝しております。大変有難うございました。
本来であれば“皆さんの代表として参加させていただきました”と言いたい所ですが、私は審判員として経験も浅く、未熟者でありますので“未熟だから、甲子園で勉強して来い”との思いやりで研修に参加させていただいたと考えております。
自身、甲子園球場については軟式野球のプレーヤーとして、また、高校野球の観衆(観戦)として幾度か足を運ぶ機会がありましたが、今回、高校野球の審判員として研修に参加させていただき身に余る思いで一杯です。
研修で得た成果については、言葉で言い表すことは出来ませんが、身をもって体感させていただいた事を今後の審判活動に取り入れ、私の審判員としての姿で成果を表して行けたらと考えておりますので、今後もしもご指導のほど宜しくお願い致します。

北村 勲